

いずれにしても雲画像のマルチセグメント観測などにより、横モード雲の形成過程や移動速度などを調査し、上記の仮説を調べる必要があると考える。

謝 辞

本観測の実施ならびに結果の解析に際して、気象庁予報課および気象衛星センターの関係者の方々から多くの御援助、御教示をいただいた。記して謝意を表する。

文 献

Ebel, U., H. Kraus and E. Schaller, 1981: The inversion capped ABL of the winter monsoon over the East China Sea during AMTEX. *Jour. Met. Soc. Japan* 59, 739-752.

遠藤辰雄, 穂積邦彦, 若浜五郎, 1985: 冬期の日本海における雲の形態と分布, 昭和57~59年度科研費補助金(総合研究A)研究成果報告書 p 35~46.

Hozumi, K. and C. Magono, 1984: The cloud structure of convergent cloud bands over the Japan Sea in winter monsoon period. *Jour. Met. Soc. Japan*, 62, 522-533.

永田 雅, 猪川元興, 吉住禎夫, 吉田泰治, 1985: 冬季日本海の収束雲帯の形成と構造についての数値的研究. 気象研究所昭和60年度研究発表会, 発表会誌 p 62~71.

Nagata, M., M. Ikawa, S. Yoshizumi and T. Yoshida, 1986: On the formation of a convergent cloud band over the Japan Sea in winter. Numerical experiments. *Jour. Met. Soc. Japan*, 64, 841-855.

岡林俊雄, 1969: 昭和44年1月上旬の日本海側大雪のときの気象衛星写真, 天気, 16, 35-36.

———, 1982: 気象衛星資料の利用(I), 測候時報, 49, 1, 1-50.

内田英治, 1979: V字型の雲パターンと日本海沿岸の大雪, 天気, 26, 287-298.

八木正允, 1985: 冬期の季節風の吹き出し方向に対して, おおよそ直交する方向にロール軸をもつ大規模な雪雲, 天気, 32, 175-187.

———, 村松照男, 内山徳栄, 黒川信彦, 1986: 大陸沿岸の地形の影響を受けた日本海上の带状収束雲と Cu-Cb ライン, 天気, 33, 453-465.

———, 1986: 日本海の組織的な雪雲の解析, 気象研究所昭和61年度研究発表会, 発表会誌, 21-32.

昭和63年度トヨタ財団研究助成の公募のお知らせ

トヨタ財団では、「新しい人間社会の探求」を基本テーマとして、研究助成を行います。特に本年度は次の課題に重点をおいて助成いたします。

- ①高度技術社会への対応
- ②多文化社会への対応

斬新な発想による研究計画の応募をお待ちしております。

助成の概要

1. 助成の対象

・上記の基本テーマに関する研究で第Ⅰ種研究(個人奨励研究), 第Ⅱ種研究(予備的研究), 第Ⅲ種研究(総合研究)の三つの研究種別があります。詳しくは応募要項をご参照ください。

2. 助成金額・期間

- ・助成金額は合計2億円程度です。
- ・助成期間は本年11月1日より1~2年間とします。

3. 助成の決定

・研究助成選考委員会(委員長 飯島宗一)にて慎重厳正に選考の上, 9月末の理事会にて決定いたします。

応募期間・方法

・応募期間は本年4月1日から5月31日(火), (当日消印有効)までとします。

詳細は下記にお問い合わせ下さい。

〒163 東京都新宿区西新宿2丁目1番1号

新宿三井ビル38階私書箱236号

TEL. 03-344-1701

財団法人 トヨタ財団研究助成係